

<p>2012年10月1日発行</p> <p>Vol.63</p>		<p>長崎県音楽連盟事務局</p> <p>〒850-0056 長崎市恵美須町4-5 NBC第3ビル2F</p> <p>Tel.&amp;Fax095-820-1081</p> <p>ホームページアドレス <a href="http://www.n-rond.jp">http://www.n-rond.jp</a> メールアドレス <a href="mailto:nma@onyx.dti.ne.jp">nma@onyx.dti.ne.jp</a></p>
-----------------------------------	---	--



長崎創楽堂マンズリーコンサート 2012.9.12

## 創楽堂より愛をこめて

ローベルト・シューマン、クララ・ヴィーク、ヨハネス・ブラームス。ロマン派を彩った、そしてロマン派という音楽史上もっとも魅力的な時代を、愛と音楽で生き抜いた音楽家たちが残した歌曲を集めた演奏会が、9月12日（水）、この春に誕生したばかりの長崎大学創楽堂で開催された。

バリトン歌手：宮下茂、ピアノ伴奏：三上次郎という、長大音楽専攻の通称M&Mコンビによる演奏会は、実に聴きごたえのある演奏会だった。ドイツに留学し、ドイツリートを得意とする宮下氏の歌唱は、考え抜かれた曲目構成と、軽妙な解説により、歌曲の魅力を存分に伝えるものとなった。当夜は、上記3人の作品に加えマーラーや三上次郎氏の作品も取り上げられ、演奏会はより楽しいものとなった。作曲家である三上氏のピアノ伴奏は、いずれの曲においても落ち着いた安定感があり、「半年前から練習したんですよ！」という、宮下氏のコメントを裏付けていた。

6月初めに、ジャズピアニストの小曽根真氏を迎

え、柿落としをした創楽堂、そして寄贈いただいたスタインウェイは、長崎のしつこい湿度と闘いながらも、キャパ100人ならではの親密な空間に、潤いのある豊かなサウンドを生みだしていた。とりわけ、聴く機会が少ないクララ・ヴィークの歌曲と、今回の演奏会のために書き下ろされた三上氏による子守唄では、このドイツ製ピアノならではの、奥行きのある魅惑的な音を聴くことができた。

この創楽堂、毎月開催されるマンズリーコンサートのほか、大学行事が入っていないときは、広く一般市民にも貸し出されている。今年の12月までに、すでに40件を超える利用申し込みがあり、みなさんに愛される、小さいけれど使い勝手の良い音楽ホールとして、稼働を始めている。創楽堂より愛をこめて。長崎大学の音楽の教員と学生たちによる、「大学からの芸術文化発信」は、大学本部や学部からの力強いバックアップを頂きながら、これからも続いていく。  
(堀内伊吹)